

# 「フェイクを見極める」

開催地：大阪

グループ： 4班

2021.9.12

## 4500万の“ものさし”



# ネットのフェイクの例

フェイクニュース

政治宣伝（意図的に虚偽の情報を流す） ブレグジット アメリカ大統領選

詐欺メール

デマ

詐欺広告 フィッシング詐欺 行方不明詐欺 サムネイル釣り

なりすまし チェーンメール 出会い系のなりすまし

誹謗中傷

加工画像

誤情報

ショッピング



# フェイクを見極めるための提案

## 1. 個人でできること

情報発信元との向き合い方

## 1. SNSができること

より信頼できるプラットフォームを構築するためには



# 情報発信元との向き合い方（個人）

発信元の正しい情報を見極めるために

1. 発言に責任を持てる発信元を信頼する
2. 背景にある思想、意図を踏まえたうえで情報を受け取る
3. 現場で起こっている、生の情報を信頼する
4. その人の以外の意見も参考にする
5. 証拠があるものを参考にする
6. 偏見を間違った形で受け取らないようにする

# SNSがより信頼されるには

1. ユーザーが嘘の情報をそれが嘘だと示す
2. ユーザーの年齢制限の導入（親にメールを送信）
3. 発信者の公開(匿名性の有無によって大きく信憑性が異なるため、それぞれのプラットフォームで分ける)
4. 事実のプラットフォームと意見のプラットフォーム

## まとめ

情報が合っているか嘘かの**ものさし**を定める必要がある→価値観で異なるため、沢山の**ものさし**を定め、色々な意見を取り入れることが大事

# ネットの特性

全てが正しいわけではない、全てが間違っているわけではない

⇒ 疑いながらみる。

より安心して活用できるネット社会について広く

⇒提言

⇒高校生目線での取組

情報受信側

情報発信側